



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2015年11月20日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、11月26日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

サノフィとアストラゼネカ、20万種以上の化合物を相互交換

フランス、パリ、2015年11月20日 - サノフィおよびアストラゼネカは、両社がそれぞれ所有する化合物ライブラリから21万種の化合物を、直接、互いに交換することを発表しました。この交換は、大手製薬企業2社による新たなオープンイノベーションモデルとなります。これにより、両社が所有する化合物の化学的多様性を高め、両社が新たな低分子医薬品の開発に向けた探索を始める際に、より幅広い、より多彩な化学物質からスクリーニングができるようになります。

両社は、各社のライブラリに保有する化合物の相違に基づき、相互交換する化合物を選択しました。今後、両社は化学構造と合成法を共有し、これら化合物の使用を促進します。化合物については、数年間にわたるハイスループットスクリーニング(HTS)を行い、生体内の特定の標的に対する効果の有無を検討することが可能となる十分な量を交換する予定です。標的に作用する化合物(「ヒット化合物」)が見出されれば、化合物を修飾して最適な構造とした「リード化合物」を作成し、可能であれば開発を進めていく予定です。

サノフィのグローバル研究開発部門プレジデントのエリアス・ザフーニ博士(Elias Zerhouni, MD)は、「サノフィでは、医学の大発見の基礎は全てコラボレーションから生まれたと認識しており、自社のR&Dプラットフォームにおけるオープンイノベーションにコミットしています。他社との協働により患者さんの命を救い、生活を改善する治療法の発見を早めることができるのであれば、喜んで協力したいと考えています。今回のコラボレーションは、私たちが患者さんに意義ある医学的価値をもたらし、生活を変える可能性のある革新的なソリューションを届ける開発力をさらに高めると信じています」と述べています。

アストラゼネカの研究および早期開発担当エグゼクティブバイスプレジデントであるメネ・パンガロス博士(Mene Pangalos Ph.D)は、「これは、当社のオープンイノベーションアプローチを象徴する非常に革新的な契約です。近年、当社は化合物ライブラリを強化することに注力してきましたが、これまでとは比べ物にならない最大規模であるこの交換により、自社の化合物ライブラリの多様性を大幅に増やすことが可能になります。最も重要なことは、これにより、患者さんに役立つ新薬になりうるユニークな出発点を同定することがより速くできるようになることです」と述べています。

今回の化合物の交換に伴う金銭の支払は発生しません。前払金や、開発候補品の作成に至った場合のダウンストリームの支払も発生しません。両社は、受け取った化合物について、標的とする疾病領域に制限を設けず研究することが可能です。

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、イノベーション志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主に循環器、代謝、呼吸器、炎症、自己免疫、オンコロジー、感染症およびニューロサイエンスの領域において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <http://www.astrazeneca.com> をご覧ください。

サノフィについて

サノフィ・グループは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。パリ (EURONEXT: SAN) およびニューヨーク (NYSE: SNY) に上場しています。詳細は、www.sanofi.com をご覧ください。日本においては、約2,650人の社員が、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医薬品等の開発・製造・販売を行っています。詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。